

西北の課題【確かな学力の育成と心の教育の充実】の解決に向けて、主体的・対話的で深い学びの実現と道徳教育や生徒指導の一層の充実を



《令和4年度 小・中学校校内研究計画について》

◇ 日頃から西北教育事務所の事業推進に当たり、多大な御支援・御協力をいただき、誠にありがとうございます。校内研究計画書から、各校の研究教科等の状況をお知らせします。

(p.5以降に研究主題等の一覧を掲載)

【小学校の研究教科等】

	算 数	国 語	複数教科	全教科等	全教科	道徳科	その他	合計
3年度学校数	11	5	3	5	2	5	1 (特別活動)	32
4年度学校数	10	2	3	6	4	6	1 (図画工作)	32

【中学校の研究教科等】

	全教科	全教科等	その他	合計
3年度学校数	11	7	1 (道徳科)	19
4年度学校数	3	14	1 (総合的な学習の時間)	18

◇ 小学校の研究教科等は、昨年度に比べ、算数、国語を研究教科とする学校が減少し、特別活動に取り組む学校はなくなりました。道徳科、全教科及び全教科等を研究対象とする学校が増え、図画工作を研究教科とする学校が新たに加わりました。

◇ 中学校においては、総合的な学習の時間を研究教科とする学校が1校、全教科及び全教科等を通して研究に取り組む学校が17校となっています。

◇ 各校の研究主題からは、「主体的」、「対話的」、「学び合い」、「伝え合い」、「振り返り」等の文言が多くみられ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を意識して取り組もうとしていることが伺えます。また、各校に整備されたタブレット端末の有効活用を図るために、サブテーマに「ICTの効果的な活用」について取り上げている学校が増えました。

◇ 研究を進めるに当たっては、校内研究計画の内容を全教職員が共有し、目指す児童生徒像をできるだけ具体的な姿として描き、これを基に授業改善に取り組むことが大切です。また、学力調査等の結果を踏まえた実態把握と、手立てを明確にすることが授業の質的改善には欠かせません。西北の課題である「確かな学力の育成」に向け、校内研究の充実を図るようよろしくお願いします。

(教育課長 大場 康之)

《授業改善について》

「西北の教育」については、今年度から各校1冊の配付となり、先生方の目に触れる機会が少なくなっていました。それをカバーするために、西北教育事務所ではホームページに「西北の教育」を掲載し、いつでも自由に見られるようにしています。学校教育に必要な情報を満載していますので、是非御覧ください。

さて、その「西北の教育」32～34ページでは、授業改善について示しています。今回の西北教育事務所便りでは、授業改善の授業全般に関することや学習場面における指導のポイントについて紹介します。授業改善の参考として御活用ください。

1 授業全般

(1) 授業設計の工夫

授業を設計するに当たっては、単元や題材のまとまりの中で、例えば主体的に学習を見通し振り返る場面をどこに設定するか、グループなどで対話する場面をどこに設定するか、学びの深まりを作り出すために、児童生徒が考える場面と授業者が教える場面をどのように組み立てるか、といった視点で考えることが大切である。その上で、1単位時間で各段階(導入、展開、終末)の学習活動を確実に実施できるよう、導入をコンパクトにするなど授業設計を工夫する。また、「児童生徒にどういった力を身に付けたいのか」という学習の成果を的確に捉え、教師の指導改善や児童生徒の学習改善につながる学習評価を工夫する。

(2) ノート指導と板書の工夫

ノートは、後の学習で活用するために整理して記述したり、試行錯誤した足跡を残したりするために用いられる、学習ツールの基本である。ワークシートは、手早く表にまとめたり、思考を引き出したりするのに有効である。ワークシートをノート代わりにする授業があるが、書き込み仕上げる活動が授業の中心となり、児童生徒が思考をめぐらせる場面が少ないことがある。それぞれの特徴を踏まえ、適切に使いたい。また、「学習課題(めあて)」がどのような学習活動を通して「まとめ」につながったのか、児童生徒に分かるような構造的な板書を工夫する。

2 学習場面における指導のポイント

授業での学習場面における主体的・対話的で深い学びの実現のための指導のポイントを「学びの質を高める授業スタンダード」として示しています。

アンダーラインは、授業づくりで特に大事にしてほしいところです。

学びの質を高める授業スタンダード

1時間の授業、または、単元を通してどのような力を身に付けさせたいのか、育てたい資質・能力を明確にした授業づくりを行うことが大切です。

1 導入の場面(課題把握)

◆子どもの問いや思い・願いを引き出し、課題意識をもたせる過程

(1) 教材提示

【「問い」や「思い・願い」を引き出すために】

・具体物の提示(写真、図、動画、絵、複数の資料の比較 など)

- ・既習事項の確認等(ノート、ワークシート、掲示物 など)
- ・実演等(教師による実験、子ども自身が試す活動 など)
- ・対話(生活経験や既習事項の想起 など)

(2) 課題の把握

【「何を学習するか」「何ができればよいか」を明確にするために】

・子どもの気付きや発言などをつないで焦点化し、課題(めあて)を設定する。

課題の条件

- ・子どもの実態に即している
- ・子どもにとって身近で分かりやすい
- ・学習への興味・関心を高めることができる
- ・適度な難易度で解決の見通しをもてる
- ・多様な考え方や解決法などを引き出すことができる
- ・子どもにとって、追究・解決する価値がある

2 展開の場面(追究・解決)

◆子ども一人一人の学びを見取って適切に支援し、課題の解決につなげる過程

(1) 計画・方向付け・見通し

【追究・解決への手掛かりを見付けさせるために】

- ・課題と生活経験や既習事項を関連付けて「何をどのように追究・解決するのか」の見通しをもたせる。
- ・結果の見通しをもたせる。(答えの予想、仮説を立てる など)
- ・方法の見通しをもたせる。(既習事項の活用、解決の順序 など)

(2) 個での追究・解決

【自分の思いや考えをもてるようにするために】

- ・子どもが「何をどのように考えているのか」を見取り、個に応じた支援をする。
- ・模範例、他の作品を紹介し、追究・解決の手立てとする。
- ・机間指導をし、その後の展開を構想する。(誰の思いや考えをどのような順序で取り上げるか)

(3) ペアやグループ、学級全体での話し合い

【思いや考えを広げ深めることができるようにするために】

- ・友達との交流を通して、個々の考えを共有させる。
- ・思考過程を可視化し、捉えやすくする。(チョークの色、囲み、矢印 など)
- ・子どもたちの考えを基に話し合いをコーディネートし、ねらいに迫る。
(話し合いの論点の明確化、子どもの考えを引き出しつなげる支援、考えを深めるための問いや揺さぶりなどの働きかけ)

3 終末の場面(課題の解決・振り返り)

◆子ども一人一人に振り返りを促し、新たな学びにつなげる過程

(1) まとめと振り返り

【「何を学習したか」「何ができるようになったか」を明確にするために】

- ・「何を学習したか」をまとめる。
- ・自分でまとめる時間を確保する。

・**課題とまとめの整合性をとる。**

- ・学習した知識・技能を活用する場を設定する。
- ・学習内容に関連した日常生活の事例を紹介する。
- ・「どのように学習してきたか」を振り返る。

(板書やノートを基にした確認、ペアやグループでの話し合い、自己評価や相互評価の活用 など)

(2) 新たな学び

【学び続ける態度を育てるために】

- ・次時につなげる気付きや疑問、新たな問いや思い、願いをもたせ新たな学びへつなげる。
- ・学習したことを活用できる身近な地域社会の事象や事例を紹介し、学び続ける興味・関心を高める。

《令和5年度全国学力・学習状況調査について》

実施予定日：令和5年4月18日(火)

対 象：小6、中3

対 象 教 科：国語、算数・数学、英語(中学校のみ)

そ の 他：実施予定日については、本年12月に策定を予定している令和5年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領において正式決定する予定です。確実な実施のため、行事を入れないよう配慮してください。

■□■□■□ 西北教育事務所教育課員の内線及びメールアドレス □■□■□■

教 育 課 長 大 場 康 之

内線295 yasuyuki_oba@pref.aomori.lg.jp

主任指導主事 浅 利 忠

内線296 tadashi_asari1@pref.aomori.lg.jp

指 導 主 事 菊 地 和 恵

内線296 kazue_kikuchi@pref.aomori.lg.jp

指 導 主 事 原 倫 子

内線297 tomoko_hara1@pref.aomori.lg.jp

指 導 主 事 須 藤 崇

内線297 takashi_suto1@pref.aomori.lg.jp

指 導 主 事 廣 森 吉 明

内線297 yoshiaki_hiromori@pref.aomori.lg.jp

主任社会教育主事 今 井 一 仁

内線296 kazuhito_imai@pref.aomori.lg.jp

社会教育主事 遠 田 隆 志

指 導 主 事

内線296 takashi_enda@pref.aomori.lg.jp

令和4年度西北教育事務所管内小・中学校 校内研究主題一覧

No	学校略称	教科・領域等	研 究 主 題 ～サブテーマ～
1	五所川原小学校	算数科	自分の考えを表現し、伝え合う子どもの育成 ～主体的・対話的学びを通して～
2	南小学校	道徳科	自ら考え、心豊かに学び合う児童の育成 ～「対話」を通して、考えを深める道徳科の授業の工夫～
3	栄小学校	全教科・全領域	子どもの主体的に学ぶ力を育むための指導法の研究 ～語彙力・読解力を高める授業づくりを通して～
4	松島小学校	道徳科	「道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるための指導法の研究」 ～「考え、議論する」学習活動の工夫～
5	中央小学校	道徳科	自己を見つめ、よりよく生きようとする子供を育む指導法の研究 ～考えを学び合い、深め合う道徳科の授業づくりを通して～
6	三輪小学校	各教科	共に学び合い、確かな学力を身に付けた子供を育てるための指導法の研究 ～学び合いの場の手立ての工夫を図りながら～
7	三好小学校	算数科	主体的に問題解決に取り組み、進んで伝え合い、ともに学び合う喜びのある授業の創造 ～確かな学力を育てる複式学年別指導の工夫～
8	東峰小学校	算数科	主体的に学習に取り組む児童を育てるための研究 ～算数科の授業を通して～
9	いずみ小学校	全教科・全領域	「主体的に課題に取り組み、根拠をもって考えを伝え合う子」を育てる指導法の研究 ～思考力・判断力・表現力を育てる手立ての工夫～
10	金木小学校	全教科	児童の深い学びを実現する授業づくりの研究 ～ICTの効果的な活用を通して～
11	市浦小学校	算数科	「数学的な見方・考え方」を働かせて問題を解決する子供を育てるための指導法の研究
12	向陽小学校	全教科	「(学び合うための基礎となる)言語にこだわる子に育てるための指導のあり方」
13	穂波小学校	国語科	自分の思いや考えを伝え合う子供の育成 ～国語科における対話活動を通して～
14	瑞穂小学校	各教科	文章を読み、内容を正確に読み取る子を育成する指導法の研究 ～6つのリーディングスキルに着目して～
15	森田小学校	全教科・全領域	読んで考える児童を育成するための授業づくり研究 ～授業のユニバーサルデザインの視点を通して～
16	柏小学校	図画工作科	自分の思いを豊かに表現できる子どもの育成 ～つくりだす喜びを感じる造形活動を通して～
17	稲垣小学校	算数科	主体的に学習に取り組む、考えを伝え合い深め合う子どもを育てる授業づくりの研究
18	車力小学校	全教科・全領域	協働的に学ぶ子どもの育成 ～主体的・対話的な学びを促す授業づくりを通して～
19	西海小学校	算数科	自ら課題を見つけ自己の考えをもち、解決する力を育てる指導法の工夫 ～数学的な見方・考え方を働かせ、筋道を立てて考える学び～
20	舞戸小学校	各教科等	目を輝かせて主体的に学ぶ子どもの育成 ～学びを実感できる授業の工夫～
21	修道小学校	道徳科	自己を見つめ、仲間と共に良く生きようとする児童の育成 ～問題意識を持ち、道徳的価値にせまるための工夫～
22	深浦小学校	国語科	確かな読みの力を育む指導法の研究 ～国語科における対話的活動を通して～
23	いわさき小学校	算数科	学び合いにより、筋道を立てて考え、表現する児童を育成するための指導方法の工夫 ～算数科における学びの場の工夫を通して～
24	小阿弥小学校	道徳科	よさを認め、望ましい人間関係を築く子どもを育む指導法の研究 ～自己を見つめ、学び合い深め合う道徳の授業を通して～
25	板柳北小学校	算数科	自分の考えをもち、共に学ぶ子どもの育成 ～算数科における授業実践を通して～
26	板柳南小学校	全教科・全領域	主体的に学び合う子どもを育てるための場の在り方についての研究 ～ICTの効果的な活用を通して～
27	板柳東小学校	算数科	確かな学力を育成するための授業のユニバーサルデザイン化による授業づくりの研究
28	鶴田小学校	道徳科	「共に考え 学び合う児童」の育成 ～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた道徳科の授業づくりを通して～
29	武田小学校	全教科	自分の考えをわかりやすく伝え合う子に育てるための指導法についての研究
30	薄市小学校	算数科	主体的に課題解決に取り組む児童の育成 ～ガイド学習を意識した算数科の授業づくりを通して～
31	中里小学校	全教科	ICT機器を活用した意見交流を通して、自分の考えを深める子供の育成
32	小泊小学校	全教科・全領域	みんなと学び合い、自分の学びを深める子供の育成 ～学びを深める授業改善を通して～

No	学校略称	教科・領域等	研 究 主 題 ～サブテーマ～
1	五所川原第一中学校	全教科	主体的に粘り強く学習に取り組む生徒の育成 ～各教科の見方や考え方をはたらかせ、知識や技能を広げたり深めたりする授業実践を通して～
2	五所川原第三中学校	全教科・全領域	「主体的に学びを実現するための指導法の研究」 ～ICT機器を活用した、4Dマインドの視点をもたせる授業改善～
3	五所川原第二中学校	全教科	学びに向かい、学びを深めるための授業改善 ～ICTを活用した学習活動を通して～
4	五所川原第四中学校	全教科・全領域	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業についての研究 ～ICTを活用した授業づくりを通して～
5	金 木 中 学 校	全教科	「主体的に学習に取り組む生徒の育成」 ～一人一台端末の効果的な活用を通して～
6	市 浦 中 学 校	全教科・全領域	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導法の研究 ～生徒自ら学びに向かうための指導計画の工夫を通して～
7	木 造 中 学 校	全教科・全領域	知識・技能を活用できる生徒の育成 ～活用場面の工夫を通して～
8	森 田 中 学 校	全教科・全領域	「わかる・できる」喜びを実感させる授業づくりの研究 ～自己の変容とさらなる課題に気付かせる振り返りの在り方について～
9	柏 中 学 校	全教科・全領域	自己の考えを表現し、主体的に学ぶ生徒の育成 ～知識・技能を活用した対話活動を通し、思考・判断・表現力を高める学びを通して～
10	稲 垣 中 学 校	総合的な学習の 時間	「主体的・対話的な学び」を具現化する探究的な学習の研究 ～『稲垣KOERU学習』の指導の工夫を通して～
11	車 力 中 学 校	全教科・全領域	主体的・意欲的に学習する生徒の育成 ～ICTを活用した主体的・対話的で深い学びを意識した授業実践を通して～
12	鯉ヶ沢中学校	全教科・全領域	主体的に考え行動する生徒の育成 ～Dトレを通した言語活動能力の向上と各教科等での活用～
13	深 浦 中 学 校	全教科・全領域	主体的に学び、確かな学力を身につける生徒の育成 ～ICTを活用した指導法の工夫を通して～
14	大 戸 瀬 中 学 校	全教科・全領域	「自分の思いや考えを積極的に伝えあい、学びを深めることができる生徒」の育成 ～言語活動の充実を通して～
15	板 柳 中 学 校	全教科・全領域	「分かる・できる・気づく」喜びをもたせる授業づくりの研究 ～効果的なICT機器の活用を通して～
16	鶴 田 中 学 校	全教科・全領域	「主体的に学び、確かな学力を身に付けた生徒の育成」 ～単元を通した課題提示と振り返り活動の工夫を通して～
17	中 里 中 学 校	全教科・全領域	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた「分かる授業、夢中になる授業」の研究 ～学習活動の焦点化と振り返りを重視した授業改善を通して～
18	小 泊 中 学 校	全教科・全領域	自ら学び、進んで課題の解決に取り組む生徒を育成するための指導方法の研究 ～学習意欲が高まるような、学習活動の工夫を通して～